

～お申込み方法～

参加をご希望の方は、下記 URL よりフォームにご入力いただくか、右の QR コードを読み取り、フォームにご入力をお願いします。申し込みが完了しましたら、後日メールで詳細をお送りいたします。



○参加申込み締切日 ⇨ 2021年9月4日(土)

○お問い合わせ先 ⇨ TEL: 075-741-7125(京都マック)

【参加申込みフォーム URL】

<https://forms.gle/QNqJUUh7CrSLAaXEe8>

講師紹介

✿ 倉田 智恵さん(ダルク女性ホーム大阪) ✿

大阪ダルク職員。フリーダム職員。ダルク女性ホーム大阪代表。なかまの家代表。

平成16年に、大阪市内に「ダルク女性ホーム」設立。広島矯正区岩国刑務所で、覚醒剤離脱教育、覚醒剤事犯教育指導にて初犯、累犯のグループを講師として担当。大阪保護観察所と神戸保護観察所の「薬物乱用防止プログラム」のスーパーバイザー。これまでに、和歌山刑務所、奈良少年刑務所、加古川刑務所、大阪刑務所、大阪医療刑務所、神戸拘置所で、覚醒剤事犯を対象とするグループを担当してきた。



KLS チームってなあに？



私たち「京都女性の回復を支援する会(KLS チーム)」は、様々な依存症(アルコール・薬物・ギャンブル・買い物・ネット依存、摂食障害、クレプトマニア等)をもつ女性が、自らオーダーメイドの回復プログラムを作れる環境を目指し、当事者と支援者が共に作った任意団体です。

依存症からの回復は「依存行為を止めれば終わり」ではありません。なぜなら、彼女たちは、多くの場合、依存以外にも様々な困難を抱えているからです。例えば、アメリカのある調査では「薬物依存症を持つ女性の2～3人に1人は PTSD 症状を持っている」「薬物依存症と PTSD 症状を持つ女性は、幼少期に身体的、性的な虐待を受けていることが多い」ことが分かっています。

問題が多岐に渡る場合、一つの機関や自助グループだけで対応するのは困難であり、多くの機関がネットワークを作り、回復を支えることが必要です。しかし、今の日本ではそのような環境はまだ整っていません。KLS チームでは、自身や家族に依存の問題を抱えた女性の生きづらさを理解し、各々の「回復」とは何かを一緒に考え、ネットワークの中で支えることを目標に活動しています。どうぞ今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。



主催

京都女性の回復を支援する会 (KLS チーム)

